



～5月のクラスだより～



ひよこ組

【保育のねらい】

- 家庭と連携をとりながら、食事・睡眠・遊ぶなどの生活の流れを作っていく。
- 安心できる保育者に見守られながら、探索活動や好きな遊びを見つけて楽しむ。



<生活の様子について>

保育園での生活が始まり、少しずつ新しい環境や大人に慣れてきた様子のこどもたち。大人との触れ合い遊びや、部屋の探索を楽しんでいます。

ひよこ組は一人ひとりに合った生活リズムで心地よく過ごすことを大切にしています。こどもたちのリズムに合わせて変化することはありますが、「登園→午前の睡眠→室内・テラスで遊ぶ→午前の食事→午睡→午後の食事→室内・テラスで遊ぶ→降園」という様な生活の流れで過ごしています。睡眠や食事のタイミングはこどもたちによってそれぞれ異なり、ご家庭での睡眠や食事の時間・様子をみながら、保育園での生活のリズムを作っています。ご家庭と連携をとりながら、こどもたちの“食べる・眠る・遊ぶ”という生理的な欲求が満たされ、楽しく過ごすことができたらと思います。



りす組

【保育のねらい】

- 戸外で探索活動を楽しむ。
- 保育者と一緒に好きなあそびを見つけ遊ぶ。



<散歩の様子>

入園・進級して1カ月がたち、少しずつりす組での生活に慣れてきました。散歩中に見つけたものを指さしては「お花、あった」「にゃんにゃん、いた」と発見を楽しんでいます。公園に着くと、それぞれが自分の行きたいところに向かっていき、花や葉、石を見つけては“これみて～”と仕草や簡単な言葉で教えてくれます。“あっちにいきたい”“公園でもっとあそんでいたい”など自分の思いもしっかり出せるようになってきました。自分の思いや欲求が満たされて、充実感や満足感を味わうことができると、自己肯定感が育っていきます。こども1人ひとりの思いや行動を認めながら、満足できるまで取り組めるよう時間に余裕をもって散歩に出ています。



うさぎ組

【保育のねらい】

- 戸外で探索・追いかっこなど体を動かして遊ぶ。
- 衣服や靴の着脱等保育者に援助されながら自分でやってみようとする。



<散歩の様子>

うさぎ組になって1カ月が過ぎました。晴れている日は毎日公園に出かけています。行く時は、「～ちゃんつなごう」と誘い合ったり、「イヤ」「つながない」と言ったりなかなか出発できない日もあります。

公園へ行く道のりには、犬やタヌキの置物があり「いってくるね」「バイバイ」と声をかけて歩いています。また、車や自転車が来るので、保育者と一緒に左右を確認しながら「来てないね」「ないよ～」と保育者の真似をして言っています。

公園では、アリやチョウチョ、クモなどに興味をもち始め、見つけては「こっちに来て」とアリに言ったり、「チョウチョどこへいくの、まって」と追いかける姿があります。これからも春の自然をたくさん楽しんでいきたいです。



ちゅうりっぷ組

【保育のねらい】

- 戸外でかけっこやおいかっこを楽しむ。
- 大人や友だちと一緒に好きな遊びを楽しむ。

【制作】

- 牛乳パックにマジックペンやビニールテープで色付けをして、『パッチンガエル』を作り、みんなで遊ぶ。



<人気のある遊び>

ちゅうりっぷ組の中で人気のあるゲームは、『スティッキー』です。スティッキーは、輪の中に3色の棒を立て、その棒が倒れないよう崩れないようサイコロで出た色と同じ色の棒を慎重に抜いていくゲームです。大人と一緒に繰り返し遊びながらゲームのルールや「〇ちゃんの次は△ちゃんだね」と順番を理解しながら楽しめるようになってきました。棒をそ～と抜かないとすぐに倒れてしまいますが、棒を抜く瞬間のドキドキするそのスリル感がまたおもしろいところでもあります。「一緒に遊ぼう」と友だちを誘い遊びはじめる姿も出てきました。



さくら組

【保育のねらい】

- 身近な自然に触れたり、関わったりして、戸外で遊ぶ。
- クラス全員でトンネル鬼や増やし鬼でおもいっきり走ることを楽しむ。



<外遊びの様子>

園庭や公園で、みんな一緒にトンネル鬼や増やし鬼をして遊んでいます。ちゅうりっぷ組の時は「鬼やりたい」と言う子が多かったのですが、今では「鬼じゃなくて逃げたい!」「捕まらないように逃げる!」と逃げる方がだんだん楽しくなってきたこどもたちです。捕まっても「もう1回やる!」と気持ちを切り替えて遊んでいます。体を動かして遊ぶのが好きなので、外で遊べる日は思いっきり鬼ごっこでかけまわりたいと思っています。



もみじ組

【保育のねらい】

- 鬼ごっこやボール遊びなど体をたくさん動かして遊ぶ。
- 約束や決まり事を守って生活をする。

<人気の遊び>

もみじ組で人気の遊びは【マンカラ】です。先攻後攻を決め、自分の陣地にあるおはじきを交互に移動させていき、先に自分のおはじきを無くした方が勝ちという単純ではありますが、とても頭を使う遊びです。

マンカラはもみじ組にしかないため、初めてマンカラで遊んだこどもたちはルールはあやふやながらもおはじきを移動させるだけで楽しく、「マンカラで遊べるってもみじ組って感じ!」と目を輝かせて対戦しています。

初めは自分のおはじきを無くすことに必死で相手の陣地にまで目が届かず、最後に相手のおはじきが自分の陣地にまわってきて「やられたー!」となる子も多いですが、回数を重ねていくうちに相手の陣地にも目を配り「〇個移動すれば勝てるかも」と自分なりの戦略を立てながら遊びをすすめる子も増えてきました。

マンカラは紙コップや空き缶などを使って簡単に作れるので、ぜひおうちでもチャレンジしてみてください!

